

2023年6月22日

報道各社 各位

大塚国際美術館

大塚国際美術館 開館 25 周年記念事業 追加展示

フェルメール「ヴァージナルの前に座る女」

2023年7月11日(火)から常設展示し、一般公開

大塚国際美術館（徳島県鳴門市）は開館 25 周年を記念し、17 世紀オランダを代表する画家フェルメールの傑作「ヴァージナルの前に座る女」を陶板で原寸大に再現し、7月11日から常設展示します。今回の追加展示によりフェルメール作品は計9点となります。本年はオランダで史上最大規模の展覧会が開かれるなど、まさに“フェルメールイヤー”。この機会にフェルメールの一連の名作をお楽しみください。



フェルメール「ヴァージナルの前に座る女」
1670-72年頃 油彩/カンヴァス 51.5×45.6cm
ナショナル・ギャラリー、ロンドン
©The National Gallery, London

最晩年の作品とされる「ヴァージナルの前に座る女」。カーテンの奥に隠れた窓から差し込む光に照らされた女性は、ヴァージナル（チェンバロに似た小型の鍵盤楽器）を弾きながら微笑を浮かべ、私たちを見つめています。

鑑賞者を合奏に誘うかのように手前に置かれた、弾き手のいないヴィオラ・ダ・ガンバは一緒に演奏する男性の存在を示しているともいわれます。当時の画家たちにとって、楽器は男女の「愛」を象徴するモチーフの一つ。愛を表現するために楽器や音楽が用いられていました。

制作年やサイズ、描かれた楽器から本作と対をなすと考えられている「ヴァージナルの前に立つ女(2019年追加展示)」とともにご鑑賞ください。

陶板名画は色彩が褪せることなく半永久的に保存できることから、原寸大での鑑賞体験はもとより文化財の記録保存の在り方に大いに貢献できればと考えています。

■ ヤン・フェルメール

1632年オランダ、デルフト生まれ。21歳のときから画家としての活動を始め、デルフト画家組合の理事も務める。手紙、音楽、恋愛などを題材とする室内の日常生活を描き、緻密な筆遣いや計算された光の表現、幾重にも解釈できる画中画など、鑑賞者を魅了する美しく繊細な作品を残した。

1675年43歳で没するとその作品は次第に忘れ去られてしまったが、19世紀になって改めて評価されるようになった。全帰属作品数は、約37点とされている。



▲当館のフェルメールギャラリー

■ 大塚国際美術館で鑑賞できるフェルメール作品一覧（9点）

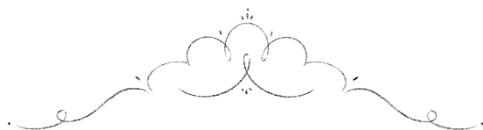
	制作年	作品名	所蔵
1	1658年頃	ワイングラスを持つ娘	ヘルツォーク・アントン・ウルリッヒ美術館、ドイツ
2	1660年頃	牛乳を注ぐ女	アムステルダム国立美術館、オランダ
3	1660年頃	デルフトの眺望	マウリッツハイス美術館、オランダ
4	1660年頃	デルフトの小路	アムステルダム国立美術館、オランダ
5	1663年頃	手紙を読む女	アムステルダム国立美術館、オランダ
6	1665-66年頃	真珠の耳飾りの少女 (青いターバンの少女)	マウリッツハイス美術館、オランダ
7	1669年	地理学者	シュテューデル美術館、ドイツ
8	1670-72年頃	ヴァージナルの前に立つ女	ナショナル・ギャラリー、イギリス
9	1670-72年頃	ヴァージナルの前に座る女 ※7/11～展示	ナショナル・ギャラリー、イギリス

■ 大塚国際美術館 これまでの追加展示

公開日	作家名	作品名	所蔵先名
開館5周年記念事業 2003年4月25日	レオナルド・ダ・ヴィンチ	最後の晩餐(修復後)	サンタ・マリア・デッレ・グラーツィエ修道院、イタリア
2004年4月29日	フェルメール	真珠の耳飾りの少女	マウリッツハイス美術館、オランダ
開館10周年記念事業 2007年4月1日	ミケランジェロ	システィーナ礼拝堂天井画完全再現	システィーナ礼拝堂、ヴァチカン
2014年10月1日	ゴッホ	幻の「ヒマワリ」	1945年兵庫県芦屋市にて焼失
開館20周年記念事業 2018年3月21日	ゴッホ	ヒマワリ	個人蔵
			ノイエ・ピナコテーク、ドイツ
			ナショナル・ギャラリー、イギリス
			SOMPO美術館、日本
			フィラデルフィア美術館、アメリカ
	ゴッホ	ヒマワリを描くゴッホ	ゴッホ美術館、オランダ
2018年11月3日	ゴッホ	タラスコンへの道を行く画家	1945年消失、マグデブルク、ドイツ
2019年3月30日	イスラエルス	ヴァン・ゴッホ「ヒマワリ」の前に立つ女	ゴッホ美術館、オランダ
2019年4月20日	フェルメール	ヴァージナルの前に立つ女	ナショナル・ギャラリー、イギリス
2019年10月1日	フェルメール	ワイングラスを持つ娘	ヘルツォーク・アントン・ウルリッヒ美術館、ドイツ
		地理学者	シュテューデル美術館、ドイツ
2020年4月21日	レオナルド・ダ・ヴィンチ	白貂を抱く貴婦人	チャルトリスキ美術館(クラクフ国立美術館分館)、ポーランド
2023年3月14日	ゴッホ	夜のカフェテラス	クレラー＝ミュラー美術館、オランダ

■ フェルメールの故郷オランダに思いをはせながら堪能！

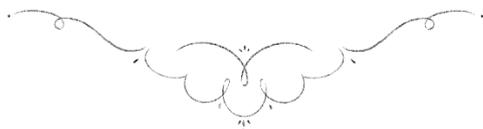
2023年7月19日(水)～11月30日(木) フェルメールランチ 1,500円 (税込み)



フェルメールの故郷オランダの、昔ながらの料理をアレンジした特別メニュー。

やわらか牛ロース肉に
デミグラスソースが相性抜群！

パンに添えたレモンとバターを
加えて“味変”するのもおすすめです。



地下2階 カフェ・ド・ジヴェルニー
10:30～16:00
(フードメニューの販売は15:00まで)



毎週土・日と祝日のみ営業
地上1階 レストラン ガーデン
11:30～15:00(ラストオーダー15:00)

※カフェ、レストランのみのご利用はできません。(要入館料)



おかげさまで開館 25 周年 大塚国際美術館

大塚グループ創立 75 周年記念事業として 1998 年 3 月に創業の地である徳島県鳴門市に設立した陶板名画美術館。世界 26 カ国の西洋美術を代表する名画 1000 余点を陶板で原寸大に再現し展示しています。美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本に居ながら世界の美術館を体験できます。

【住 所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117
【U R L】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開 館 時 間】9 時 30 分から 17 時(入館券の販売は 16 時まで)

【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌日)、1 月は連続休館あり、その他特別休館あり *8 月無休

【入 館 料】一般 3,300 円 / 大学生 2,200 円 / 小中高生 550 円 *20 人以上の団体は 10%割引



《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部 原田 長谷川

TEL:088-687-3737 FAX:088-687-1117 MAIL:info@o-museum.or.jp